



事故で利き手を失い、左手で描いた達磨大師。
一つずつ表情が違う。

るので、これをもっと活用
できないものかということ
です。
自治体での下活用例はま
だ少ないと聞きますが、町長
そして議会の皆様がこの活用
を更に進めて頂いては如何で
しょうか。福祉・高齢者・教
育関係等も大事なことです
が、町民が憩えて、青少年が
活用できる場をもっと増やし
て欲しいです。

宮平区に居を構えて40数
年、今では知人友人も増え
何かと忙しく振舞っている
今日この頃です。町内では
ボランティア活動もさせて
もらい、小中学校での朝の
挨拶で子ども達の笑顔に接
し、いつも幸せ感をもちっ
ています。そのような折に
議会だよりから寄稿依頼が
あり、ありがたく引き受け

させてもらいました。
前町長が前例のなかった
自動車道の下活用を実現
させ、まだ一般的でなかつ
たスケボー場を始め青年
活動の場、そして住民の憩
いの場を設け、休日祝日な
どに広く活用されているこ
とは大変喜ばしいことです。
散策中に思うのは、まだ利
用されていない空き地があ



南風原小学校正門で朝のあいさつ

垣花 弘光 78歳

自動車道下の 更なる活用を

けた
した



《 左のQRコードを読み取る
ことで議会中継サイトに
繋がります。》





《 はえばる議会だよりの
バックナンバー》

次回定例会の開会予定
9月10日(水)午前10:00

表紙の題字・写真をお寄せください

あなたの作品を議会だよりに掲載しませんか。表紙の題字
と写真を募集中です。のびやかな題字や笑顔あふれるお写真
をお待ちしています。ご意見・ご要望なども広く募集しています。
議会だよりへのご意見・ご感想も受け付けています。

連絡先：議会事務局 TEL.889-3097 FAX. 889-4499
E-Mail H8893097@town.haebaru.okinawa.jp

「障害の社会モデル」とい
う言葉を知っていますか。
障害が個人の特性や心身機
能の制約にあるのではなく、
社会や環境によって困りご
ととして現れるという、障
害学の考え方です。
例えば、階段は車椅子の
移動の妨げになりますが、
世の中の建築家が全て車椅
子利用者だったら、階段が
一つもない町ができるかも
しれません。
他にも盲学校では、眼が
見えない方は記憶を頼りに
モノの場所を判断するため、
全て同じ場所に片付けるこ
とが基本でした。見える人
が何気なくものを移動する
ことで、普段と違うバリア
をつくってしまうのだと気
付かされました。
本号は「社会的に弱い立
場にある人」をテーマにし
ていますが、どのような立
場にあっても地域で共に暮
らせる豊かな南風原を皆さ
んと一緒につくっていきたく
と思います。

(担当/玉城陽平)

編集室より